

1 学校課題

近年我が国は、情報化、科学技術の高度化、国際化などめまぐるしい変化を遂げ、社会情勢は大きく変化した。このような社会情勢に伴い生徒を取り巻く環境も大きく変化しており、生徒の生活の状況は大きく変わりつつある。その社会情勢を踏まえ、今後の教育課題について考えてみたとき、激しい社会の変化にも、柔軟に適応できる能力を育成することがまずは必要であると思われる。社会の変化に適応できる力、すなわち自らが進んで問題を解決し、主体的に活動できる能力をすべての生徒に身につけさせることが、学校教育の今日的課題である。

本校は、大菩薩山嶺の扇状地に広がる農村地帯であったが、近年農業人口が減少し、保護者も地域社会も価値観が多様化し、生徒の中にもその影響が見られる。

本校生徒は、おもに大藤、神金、玉宮の三地域の小学校から生徒は入学してくる。それぞれの地域の小学校とも少人数の単級であり、人間関係が固定化しつつある。そして、同年代との人間関係づくりをあまり経験していない。また、少人数ゆえ生徒一人一人に目が届くことで、逆に主体的に活動する機会が不足している。言われたことはまじめに行う反面、指示待ちになってしまうことも多々ある。そのような中で、互いに切磋琢磨しようという姿勢や、主体的に物事に挑戦しようという意欲に欠けているように思われる。

2 研究主題

心豊かで主体的に活動する生徒の育成

～個の力を向上させるためのQUアンケートの活用～

3 主題設定の理由

平成15年中央教育審議会答申により「生きる力」をはぐくむという新学習指導要領の基本的なねらいの重要性を確認し、「生きる力」を知の側面からとらえた「確かな学力」の育成に係る具体的な方策が提言された。そして「生きる力」の育成を重視した新学習指導要領が平成24年度から全面実施となった。新学習指導要領で示された、「確かな学力」をすべての生徒に身につけさせることが求められている。ここで示された「確かな学力」とは知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたものをいう。

本校では、過去4年間にわたり「心豊かで主体的に活動する生徒の育成～表現力の育成を図るための言語活動の工夫を通して～」という研究主題のもと、研究を進めてきた。知的活動（論理や思考）の基盤、コミュニケーションや感性・情緒の基盤となる言語力に課題が有るという現状認識から、自分の考えや思いを多くの場面で、より適切な言葉で正しく相手に表現することができるようになれば、確かな知性と心豊かな人間性を持ち、より主体的に活動する生徒の育成につながるとの仮説から様々な表現力の工夫を教育活動に取り入れてきた。集団としての成果が上がる中で、新たな課題として「個の力」があげられた。

「個の力」とは、人前でも自分の考えをしっかりと発言できたり（表現力）、集団で出来る大きな挨拶などが個となったときにもしっかりと出来る個々の能力とする。さらに、このように個の力を向上させるには、所属する学級集団が親和的であることが必要である。QUアンケートを使い学級集団の状態を把握するなかで、生徒一人一人が、個の力を伸ばせるように手立てを考え実行していく。個の力を向上させていくことで、学級集

団が「支え合い、学び合い、教育力のある、質の高い集団」となると仮定し、本主題を設定した。

4 研究の具体的な内容と方法

- (1) 個の力を向上させるための言語活動や QU アンケートの活用
- ・ QU アンケートを活用し K13 法を取り入れた、個々への支援法の研究と実践
 - ・ 個の力を高めるため、教科指導における具体的な手段をさぐり、全職員が共通理解し実践する。
 - ・ 家庭学習の工夫をさせる。考えさせながら家庭学習の習慣づけを目的とする。
 - ・ 研究授業を通して、実践検証する。
- (2) 日常的に個の力を高める研究（塩北ライフの実践）
- ・ 挨拶、授業規律、生活規律の徹底
 - ・ 部活動や集会等における挨拶の仕方、返事の徹底
 - ・ その場に応じた適切な言葉遣いの使用
 - ・ 日々の表現活動（スピーチ、掃除の反省会、生活記録ノート）
- (3) 学力向上に関する研究と実践
- ・ ティームティーチングの実践（数学・英語）
 - ・ 基礎基本の定着をはかる、ランクアップテストの実施
 - ・ 夏期学習会
 - ・ 読書活動の推進
 - ・ NRT の実施と活用

5 年間校内研修計画

研究主任 佐久間 覚

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
K13法研修会	全教科	研究主任	全学年		
QUアンケートの分析と活用	全教科	全員	全学年	10月 11月	○ ○
甲州市内臨地研修 (ブロック研究会)	総合学習	研究主任	全学年		
小中学校授業公開 (ブロック研究会)	全教科	授業者	全学年	11月 1月	
塩北ライフの活用(家庭学習の手引きの改善)	全教科	各教科主任	全学年		

